

トピックス **ぶらす**

10/24

**しっかり育ったアフリカへの支援米**

食糧難に苦しむアフリカ・マリ共和国への支援米稲刈り（JAみやぎ登米大袋青年部主催）が10月24日、近隣のほ場で行われました。刈り取りは鎌を使った手刈りで、参加者は農家の人たちに教わりながら、大きく実った稲を刈り取りました。刈り取り終了後は、大袋公民館で収穫祭が行われ、新米のおにぎりやお餅など、秋の味を堪能しました。



▲皆で協力して行った、手刈りでの刈り取り作業

10/28

**建設工事の無事・安全を祈る**

高齢者が要介護状態になった際、できる限り住み慣れた自宅や地域で生活できるよう支援する「地域密着型特別養護老人ホームいしこし（仮称）」の建設工事に係る安全祈願祭が10月28日、同施設建設予定地で行われました。祈願祭には、施工主の社会福祉協議会関係者のほか、施工業者、市関係者など46人が参加し、皆で工事の安全を祈りました。



▲各関係機関の代表が一堂に集い、安全を祈りました

11/8

**被害や感染の拡大防止に万全の対応を**

大規模災害や、口蹄疫など感染力が強い伝染病の発生時における応援協定締結式が11月8日、市役所迫庁舎で行われました。締結式には、(社)宮城県建設業協会登米支部、(株)レンタルシステム東北、米山町建設業協会が出席し協定を締結しました。今回の協定により、これまで以上に市と各企業の連携が強まり、初期対応体制が充実されました。



▲災害や伝染病の発生に備え協力体制を誓いました

11/20

**著名な漫画家を招きトーク&サイン会**

現在開催中の「原孝夫お仕事展」の記念イベント「トーク&サイン会」が11月20日、石ノ森章太郎記念館で開催されました。イベントには、「釣りキチ三平」の矢口高雄さん、「味いちもんめ」の倉田よしみさん、「監察医朝顔」の木村直巳さんなど著名な漫画家が参加し、会場は訪れた大勢の漫画ファンで、多いにぎわいました。



▲大勢のファンが集まり、大盛況となったサイン会

**音楽に合わせて体を動かす**

登米総合体育館でレクダンス

とよまスポーツクラブ「蔵っこ」のレクダンス教室が11月12日、登米総合体育館で開かれました。レクダンスとはレクリエーションダンスの略でフォークダンスの1ジャンルとなっています。ダンスは最近の流行曲に、簡単なステップと振り付けを自由にアレンジして踊ります。この日は27人の会員が参加し、「島のブルース」や「涙のラブメール」などの曲目にあわせ体を動かしました。レクダンス教室は、会員の健康保持と仲間づくりを目的に、蔵っこの人気メニューの一つとして毎月2回開催されています。



▲曲のリズムに合わせて楽しく踊る皆さん

**楽しい絵本をありがとう**

子どもたちのすこやかな成長を願い、迫地区民生委員児童委員協議会が実施している絵本の寄贈が行われ、迫地区内の幼稚園や保育園11施設に計58巻の絵本が寄贈されました。この事業は、平成15年から同協議会女性部会が実施しているもので、アルミ缶などを回収しそれを資金として施設などへ寄贈活動を続けているものです。11月2日には佐沼保育園に訪問し、絵本7巻を寄贈しました。絵本を贈られた園児たちは、みんなで歌を披露したり肩をたたいてあげたりして、感謝の気持ちを伝えていました。



▲楽しい絵本のお礼にと、園児から肩たたきのサービスが行われました

**豊かな秋の恵みを楽しむ**

東和の秋まつり

東和の秋まつり（同実行委員会主催）が11月6日、東和総合支所西側特設会場で開催されました。特設ステージでは町内の小中学校の生徒による合奏や太鼓演奏のほか、恵泉会の皆さんによる雀踊り、文化協会の皆さんによる踊りなどが披露され、会場からはたくさんの拍手が送られました。また会場では、小中学校や恵泉会、文化協会の皆さんの作品展示や農林産物販売、東和中の起業販売コーナーなどたくさんのテントが軒を連ね、市内外から訪れた大勢の来場者で終始にぎわいを見せていました。



▲東和中の生徒による、起業販売テントには長蛇の列ができました